

# 令和5年度稲城市地域自立支援協議会（第2回）

## 〈議事録〉

日 時：令和5年9月11日（月）

15時00分～17時00分

場 所：地域振興プラザ 大会議室

### 1 議題

- (1) 精神保健福祉部会報告
- (2) 第四次稲城市障害者計画・第7期稲城市障害福祉計画・第3期障害児福祉計画

### 2 出席者

#### (1) 委員

役職	氏名	選出区分	組織名等
会長	藏野 ともみ	学識経験者	大妻女子大学
副会長	青野 修平	教育・雇用関係者	社会福祉法人 正夢の会
	鈴木 英之	相談支援事業者	稲城市社会福祉協議会
	石川 哲	福祉サービス事業者	NPO わくわく
	村上 愛美	福祉サービス事業者	社会福祉法人 正夢の会
	菊池 晴美	保健・医療関係者	東京都南多摩保健所
	津野 由記子	保健・医療関係者	島田療育センター
	櫻井 真紀子	教育・雇用関係者	都立多摩桜の丘学園
	川本 安岐夫	障害当事者団体	安心安全連絡会
	進藤 直人	障害当事者団体	稲城市身体障害者福祉協会
	高野 玲子	障害当事者団体	稲城市精神障害者家族会
	狩野 和枝	稲城市民生児童委員協議会	民生児童委員

#### (2) 事務局

稲城市	福祉部	山田部長
	福祉部 障害福祉課	眞下課長、細山主幹、中山係長、森橋副係長、野口、田中、篠田
稲城市社会福祉協議会		山崎
マルシェいなぎ		原
計画策定支援事業者		株式会社名豊・池上

(3) 傍聴者 5名

### 3 配付資料

- 資料1 令和5年度稲城市地域自立支援協議会 委員一覧
- 資料2 令和5年度第1回稲城市地域自立支援協議会議事録
- 資料3 令和5年度第2回稲城市精神保健福祉部会 報告
- 資料4 障害福祉サービスの見込量・地域生活支援事業の見込量一覧
- 資料5 第四次稲城市障害者計画・第7期稲城市障害福祉計画・第3期稲城市障害児福祉計画【素案】

### 4 議事内容

#### (1) 議題

##### ① 精神保健福祉部会報告

令和5年度第2回精神保健福祉部会について事務局から報告を行い（資料3）、委員から以下の意見があった。

No.	委員からの主な意見	事務局の説明
1	精神保健福祉部会は唯一当事者が入っている部会であり、仮想事例を用いたグループワーク等を中心に議論が深められているように感じる。ただ、精神保健福祉分野は自主的に勉強をしないと追いつけない分野であり、ぜひ委員の皆さんと勉強会を実施したい。	—
2	厚生労働省では、就労支援員等に対する基礎的研修受講の義務化について検討を進めていると聞く。基礎的研修を実施できる主体は限られているが、本協議会委員の所属組織の中には認定を受けている組織もあり、協議会を通じて情報共有・交換を進めていけるとよいと思う。	—

##### ② 第四次稲城市障害者計画・第7期稲城市障害福祉計画・第3期障害児福祉計画

標記計画の素案の基本理念、目標設定障害福祉サービスの見込量及び地域生活支援事業の見込量等を中心に事務局から説明を行い（資料4・5）、委員から以下の意見があった。

No.	委員からの主な意見	事務局の説明
1	基本理念について、市民にある程度浸透している点、誰でも分かりやすい点では、現状の理念を踏襲する形も考え	事務局案を作成して、次回の協議会でお示しする。

	られる。漢字か平仮名かの表記方法を見直すことも考えられる。また、「稲城らしさ」を表現に加えられるとよい。いずれにしろ、今後市民に広く浸透するように目指すことが重要。	
2	今回の事業者・関係団体ヒアリングは、項目が多くて回答しづらかった。私たちの声をどう反映してもらえるかということが一番大事だと思うので、工夫してもらいたい。	—
3	PDCA サイクルの考えに基づき、これまで実施してきたことの課題を分析し、次の展開に活かされていることが分かるような構成になるとよい。	本計画は PDCA サイクルの考えに基づき進行管理を行うものであり、計画の構成の中でもそれが見えるよう工夫したい。
4	本計画は、計画期間が異なる複数の個別計画を一体化するため、見直しがどのような動きになるのか分かりづらい。計画期間の説明が市民に分かるように工夫してもらいたい。	イメージ図をつけるなどして工夫したい。
5	アンケート結果には、手帳別のクロス集計の結果は掲載しないのか。また、本計画の資料編などに今回掲載しなかった設問を含めた単純集計の結果を掲載する予定はあるのか。次回計画を見直す際は、調査内容の全てを踏まえて行うべきだと考える。	手帳別のクロス集計を掲載する設問については精査して掲載していく。また、資料編に全ての設問の単純集計の結果は掲載していく。
6	「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」の成果目標について、東京都の目標数値は掲載するのか。	東京都の目標になるので、注釈等は載せるが目標数値は掲載しない。

#### (4) その他

障害者週間に合わせて行うイベントについて共有し、委員から、障害者アートなどを通じて、稲城市における地域共生社会に向けたつながりをつくっていききたい、将来的には本協議会で地域共生社会に向けたシンポジウムが開催したい、と意見があった。

#### (5) 会議後にあった主な意見

- ・市が進めている重層的支援体制と絡めながら、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」の成果目標に具体的な数字を出してほしい。他の項目でもなる

- べく定量的な目標を設定してほしい。
- ・本計画を多くの市民や当事者に知ってもらうためにユニバーサルデザインを意識した、計画の「わかりやすい版」を作成してほしい。
  - ・過去の計画と実績比があるとイメージしやすい。
  - ・障害福祉サービスの見込の「訪問系サービス」について、以前から「居宅介護・重度訪問介護・行動援護・重度障害者等包括支援」がまとまっている。別々に記載できると分かりやすい。
  - ・地域移行支援や自立生活援助の見込量に変化がないが、当事者が希望を持てる表記を望む。
  - ・「地域生活拠点等の整備」について、現在の面的整備のイメージ図があれば掲載してほしい。
  - ・今後の法改正（例：障害者の短時間労働）について反映できるものはしてほしい。
  - ・地域生活支援事業の見込量の中で、「有」、「無」で表記されているものについて、今後の方針などの補足情報がほしい。
  - ・新型コロナウイルス感染症の影響の有無について分かる範囲で記載してほしい。
  - ・本計画の名称が「第四次稲城市障害者計画・第7期稲城市障害福祉計画・第3期稲城市障害児福祉計画」と長くて分かりづらいので、別称について検討してほしい。
  - ・前提、知識がなくても理解できるような表現や内容が望ましい。
  - ・3つの個別計画を一体化したため、従来計画との対応が分かるようにしてほしい。
  - ・書いてある障害の内容に偏りがあるように見える（知的と発達障害）。

以上